

支部便り

第16回東海支部女性の会「工場見学会」開催報告

Report on the 16th women's meeting "Factory Tour" from Tokai branch

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

軽金属学会東海支部女性の会では、会員同士の交流や理系女子学生に社会人として働くイメージをもってもらうための講演会、交流会、工場見学会を開催している。コロナ禍ではオンラインでの講演会と交流会のみの開催だったが、昨年度より工場見学会を再開している。今年度は令和5年12月1日(金)に工場見学会を開催した。会員・非会員あわせて18名の申し込みがあったが、体調不良などの理由で欠席があり、当日は15名で実施した。参加者の内訳は学生3名、社会人12名だった。女性の会主催の工場見学では例年男性の参加が非常に少ないが、今回は世話人以外で4名の男性が参加された。

工場見学のスケジュールは以下の通りである。

- 9:15 豊橋駅集合、出欠確認
- 9:30 貸切バスで出発
- 10:00～11:10 豊橋地下資源館 見学
- 11:30～13:00 蔵カフェこまやで昼食
昼食後は二川宿を散策
- 13:20～16:40 株式会社アーレスティ
会社紹介
ダイカスト工場見学
テクニカルセンター見学
質疑応答
- 16:40～17:20 バス移動
- 17:20 豊橋駅にて解散

豊橋地下資源館には岩石・鉱物の展示のほか金属精錬工程を説明する模型や体験型の常設展示があり、参加者はおのおの興味のある分野を見学した。また、地元小学生の夏休み工作の展示も特別に見せていただいた。昼食は東海道二川宿の街道筋にある蔵カフェこまやの日替わりランチをいただいた。こまやは旧商家の蔵を利用した店で、街道沿いの間口は狭いが奥には茶室など複数の建物が縦長に配置され、歴史や



図1 参加者の集合写真 豊橋地下資源館にて

文化を感じられた。

午後は株式会社アーレスティを訪問し、東海工場およびテクニカルセンターを見学した。工場ではダイカストマシンの稼働や搬送した溶湯を保持炉に移す作業を間近で見学し、製造現場の迫力ある光景に「感動した」との参加者の声もあった。テクニカルセンターでは物理測定機器などの分析機器や会社の歴史を示す製品群の説明を受けた。アーレスティ独自の優れたアルミダイカスト法や、東京スカイツリーにも採用されているモバフロア、車体骨格部品のダイカスト化に関する展示、さらにはレーザ熱処理技術などの最新技術が紹介され、見学後の質疑応答では時間を延長して活発な討論がなされた。

見学会終了後のアンケートでは、5段階評価の平均が4.7で



図2 参加者の集合写真 アーレスティにて

比較的満足度が高かった。特に地下資源館の工業的な展示やアーレスティのダイカストマシンの迫力が印象的だったとの記載が多く見られた。また、参加者同士の交流もでき、研究に関する話題のほか、キャリアに関することや、趣味などの共通点を通じて、軽金属分野でのつながりをつくる点で、本企画は大変有効であると感じている。

東海支部では、今後も支部会員や学生向けに交流会や工場見学会を企画していく予定である。性別・キャリアを問わず、ぜひご参加いただきたい。

最後に、本会開催にあたり、見学受け入れ先の豊橋地下資源館、株式会社アーレスティ、ならびに参加者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

世話人：日本軽金属株式会社 伊藤 麻美
名古屋工業大学 成田 麻未
株式会社TYK 大島 智子
名古屋工業大学 渡辺 義見